



令和8年度9月補正予算案 主要事業の概要

令和8年9月
山形県

目 次

【みらい企画創造部】

- 山形新幹線米沢トンネル（仮称）の整備実現等に向けた調査 1
- 山形県次世代タクシー導入促進事業 2
- 新スポーツ施設の整備に向けた配置・周辺環境に係る調査検討（繰越明許費の設定） . 3

【環境エネルギー部・県土整備部】

- クマ出没対策の強化 4

【健康福祉部】

- ドクターカーの導入に向けた支援 5

【産業労働部】

- 次期アンテナショップ整備事業費 6

【観光文化スポーツ部】

- 斎藤茂吉 魅力発信・普及啓発事業費 7

【農林水産部】

- 県産米需要創出緊急対策事業費 8

【県土整備部・農林水産部】

- 令和8年7月からの大雨被害への対応 9

【教育局】

- 高校教育改革を先導する拠点校の創出 10

山形新幹線米沢トンネル（仮称）の整備実現等に向けた調査

21,495千円

趣 旨

- 米沢トンネル（仮称）整備の早期事業化に向け、「山形新幹線米沢トンネル（仮称）整備スキーム検討会議」において、有識者・国土交通省・JR東日本等とともに、事業費、工期等の整備計画や費用負担、必要な制度等の整備スキームについて検討を重ねている。
- これまでの会議で課題とされた事業リスクへの対応について、海外事例等を参考に整理し、米沢トンネル整備事業の早期事業化に向けた関係者間の合意形成の促進を図る。
- 併せて、山形新幹線の部分的・段階的な高速化や安定性向上に資する整備を進めるための調査・検討を行う。

事業内容

- 幹線鉄道ネットワーク関係調査 20,000千円
 - （１）事業リスク対応の事例研究
海外事例等を参考に、事業リスクについて調査・分析を行い、米沢トンネル整備事業における適切なリスクの取扱いを検討
 - （２）幹線鉄道の部分的・段階的な機能強化に向けた調査・検討
山形新幹線の着実な機能強化に資する複線化や線形改良等の整備を進めるための手法等について幅広く調査・検討



E8系(R6～)



山形県の未来を拓く希望のトンネル

山形新幹線

米沢トンネル
(仮称)

山形県次世代タクシー導入促進事業

11,700 千円

趣 旨

- タクシー事業は、高齢者の買い物や通院など、日常生活における外出手段として、また、観光や交流、地域経済を支えるアクセス手段として、本県の地域公共交通において重要な役割を担っている。
- 一方で、不安定な国際情勢が続き、燃料費の高止まりや物価高騰が常態化する中、事業者は非常に厳しい経営状況に置かれている。
- こうした中、化石燃料への依存度を下げ、長期化する燃料費高騰に対応できるよう、エネルギー転換を目指して車両を導入するタクシー事業者に対し、車両購入費用の一部を補助するもの。

事業内容

交付対象：タクシー事業者

対象車両及び交付額：

対象車両	交付額（定額）
E V（電気自動車）	600千円/台
F C V（燃料電池自動車）	600千円/台
P H E V （プラグインハイブリッド自動車）	300千円/台
H V（ハイブリッド自動車）	300千円/台

【対象車両イメージ】



E V タクシー



P H E V タクシー



H V タクシー

新スポーツ施設の整備に向けた配置・周辺環境に係る調査検討（繰越明許費の設定）

【当初予算計上後の状況】

当初（今年2月）

- 新スポーツ施設・新博物館の建設候補地として、「山形市桜町地内（県民ふれあい広場（旧県立中央病院跡地）を含むエリア）」とすることを発表
- 令和8年度当初予算において、新スポーツ施設整備検討会議に係る経費や、建設候補地に係る調査等（敷地測量、土壤汚染状況調査計画策定、新博物館と新スポーツ施設の配置環境基本計画策定、不動産鑑定）の経費を計上

検討の経緯

- 3月に山形美術館から要望を受け、新博物館の建設候補地として山形市大手町エリアを検討したものの、所有者である山形市で、活用について検討していることが判明
- 県の財政状況等を勘案し、県有地である「県民ふれあい広場」のみでの整備とすることを検討

検討結果

- 新スポーツ施設は、現体育館・武道館の撤去から供用開始までの空白期間を極力抑えるため予定どおり「県民ふれあい広場」で整備

【建設候補地】

新スポーツ施設：県民ふれあい広場（旧県立中央病院跡地）
新博物館：今後改めて検討

補正内容

- 検討結果を踏まえ、当初予定していた「新博物館と新スポーツ施設の配置環境基本計画策定」（R8当初予算額19,800千円）については、新スポーツ施設整備に係る業務として実施
- 建設候補地の検討に時間を要したことに伴い、次年度まで委託期間を要することから、繰越明許費を設定

クマ出没対策の強化

23,914 千円
(+債務負担行為 16,000 千円)

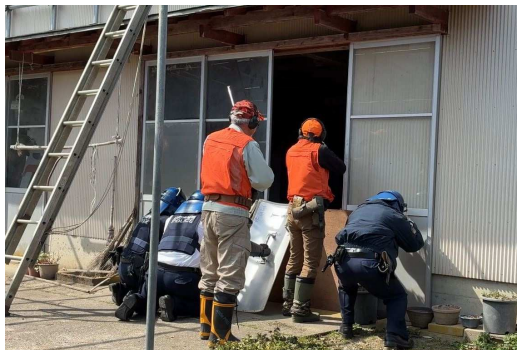
趣 旨

- クマによる人身被害を防止するため、クマ等出没時の緊急銃猟を確実に実施できるよう訓練経費等を支援し、市町村の実施体制を強化する。
- クマ等の出没事案が多く発生している山間部に接する都市公園において、境界部の樹木等の伐採による緩衝帯の整備等を行い、公園内への出没の抑制を図る。
- 令和9年のクマ春季捕獲の実施に向け、ドローンを活用した効率的な捕獲による個体数管理を進めるための準備を整える。（債務負担行為の設定）

事業内容

- (1) 緊急銃猟支援事業 6,914千円
 - ・ 緊急銃猟の実施に際し必要となる備品や消耗品の購入、捕獲者等への日当、訓練に係る経費を追加支援
- (2) 都市公園におけるクマ等の出没抑制対策 15,000千円
 - ・ 西蔵王公園の樹木等伐採による緩衝帯の整備等
- (3) 令和9年クマ春季捕獲事業 2,000千円
 - ①令和8年度分
 - ・ クマ春季捕獲の従事者に係る保険加入、熱感知カメラ搭載ドローン活用による効率的な捕獲の試行の準備
 - ②令和9年度分
 - ・ 春季捕獲の実施（3月上旬～5月下旬）債務負担行為16,000千円
捕獲手当 60,000円/頭、日当（出動手当） 10,000円/日

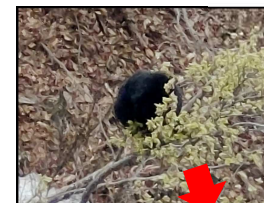
緊急銃猟実施の様子



都市公園境界部の緩衝帯整備



クマ春季捕獲



熱感知カメラ

ドクターカーの導入に向けた支援

5,000 千円

趣 旨

- 救急医療の現場において、天候等により出動の可否が左右されるドクターヘリを補完するものとして、消防機関と医療機関の連携によるドクターカーの導入に向けた医療機器等整備への支援を行う。

事業内容

- 医療機器等の整備費助成 5,000千円
救命救急センター等を対象に、同乗する医師が使用する医療機器等の整備費用を助成する。

【補助対象例】

ポータブルエコー、ビデオ喉頭鏡、パルスO₂オキシメーター 等

ドクターカー運用のイメージ



次期アンテナショップ整備事業費

12,026 千円

趣 旨

- 人口減少が進展する中、県外から本県に活力を呼び込めるよう、移住定住も見据えた関係人口や観光交流人口の拡大が必要なことから、首都圏における本県の魅力や情報の受発信の役割を担うとともに、本県産業の活性化にも寄与する拠点としてアンテナショップの機能強化を図る。
- 幅広い層の方に本県への興味・関心を高め、本県との関係性を深めていただく体験・交流活動、観光やくらし、しごとなども含めた本県の総合的な魅力の発信など、多様な取組みに適した場所に移転することとし、令和9年度中のオープンに向けて準備を進めていく。

※現アンテナショップ「おいしい山形プラザ」は令和8年度末で営業終了の予定

【移転先（予定）の概要】※契約締結に向けて調整中

- 東京都中央区日本橋室町
- 日本橋室町野村ビル ユイト
- 地下1階・1階・2階の一部（計 約150坪）

事業内容

- ① やまがたA I コンシェルジュの配置 8,962千円
・多様な相談ニーズに対応して、本県の魅力を総合的に案内する相談窓口「やまがたA I コンシェルジュ（仮称）」の配置に係る経費
- ② 次期アンテナショップオープン準備 1,417千円
・次期アンテナショップの愛称募集及び商標登録に係る経費
- ③ 運営事業者等の公募 1,647千円
・次期アンテナショップの整備のため実施する各種公募型プロポーザルの審査、事業者打合せ等に要する経費

- 「魅力発信窓口、交流・体験部門」運営業務の委託
（令和8～10年度債務負担行為 限度額 85,000千円）
- 次期アンテナショップ内装企画・設計業務の委託
物件の選定による設計時期確定に伴う繰越
（R8当初予算措置 59,400千円をR9に繰越）

斎藤茂吉 魅力発信・普及啓発事業費

5,000 千円

趣 旨

- ・ 2028年度前期の連続テレビ小説（NHK）として、本県出身の歌人・医師である斎藤茂吉とその妻・輝子を描く作品「ほんのモキチ」の制作が決定した。斎藤茂吉は本県を代表する偉人の一人であり、功績や作品の魅力は本県の貴重な文化資産となっている。
- ・ ドラマ制作決定を契機に、斎藤茂吉に関する情報を収集・発信し、郷土の偉人である文化人茂吉を県民に定着させることで、郷土愛の醸成と文化芸術の振興を図るとともに、茂吉を核とした観光誘客の拡大につなげる。

事業内容

①茂吉ゆかりの地等の情報収集・整理、発信 3,350千円

- ・ 県内の茂吉の歌碑や茂吉が歌に詠んだ風景、過ごした場所など、茂吉ゆかりの地等の情報を収集・整理し、ドラマのロケ候補地の提案や情報発信に活用するとともに、文化芸術の振興や観光誘客の拡大など、今後の施策展開の検討に活用

②児童・生徒向けデジタル副読本の制作 1,650千円

- ・ 県内の小中学生向けに、斎藤茂吉を分かりやすく紹介するデジタル副読本を制作

【斎藤茂吉】

明治15年（1882年）5月14日生、昭和28年（1953年）

2月25日没（満70歳）。現在の山形県上山市に生まれ、精神科医として働きながら、生涯で1万8千余首の歌を創作。

近代短歌を代表する歌人。

【郷土の風光を詠んだ歌の例】

- ・ 陸奥をふたわけざまに聳^{そび}えたまふ蔵王の山の雲の中に立つ
- ・ 最上川逆白波のたつまでにふぶくゆうべとなり^{さかしらなみ}にけるかも



県産米需要創出緊急対策事業費

95,000 千円

趣 旨

- 全国的な民間在庫量の増加等により、今年の秋の新米についても、販売進捗の遅れが懸念されることから、県産米の需要の創出・拡大に向けた緊急的な対策として、県と県内の米穀集荷・販売事業者、卸売業者等が連携したキャンペーンやフェア等の取組みを展開する。

事業内容

- (1) 県産米取扱事業者による需要創出の取組み

75,000千円

事業者において県産米の広報宣伝、販路拡大等を実施

- ・米穀集荷・販売事業者、卸売事業者等へ補助

補助率：事業費の1/2以内

(主食用米の仕入数量に応じた上限額を設定)

- (2) 「つや姫」「雪若丸」需要創出の取組み 20,000千円

「つや姫」「雪若丸」ブランド戦略に沿った取組みを拡大

- ・米穀店と協力し、百貨店内の惣菜店で「雪若丸」を使用するフェアの開催
- ・中京・西日本等の量販店・イベントにおけるPR

など



令和8年7月からの大雨被害への対応

3,375,800 千円

趣 旨

- 令和8年7月からの大雨により被災した道路・河川などの公共土木施設及び農地・農業用施設などの農林関係施設について、災害復旧工事等を実施する。

事業内容

① 建設災害復旧事業 【既決予算対応】

- ・ 公共土木施設の災害査定に必要な調査・測量・設計、災害査定後の災害復旧工事等

小白川（飯豊町）ほか

② 災害防除事業 3,375,800千円

- ・ 道路の路肩補修、倒木・土砂の撤去、河川の護岸の修繕等

主要地方道 川西小国線（小国町）、犬川（川西町）ほか

③ 農林関係施設災害復旧事業 【既決予算対応】

- ・ 農地・農業用施設の災害査定後の災害復旧工事等

川西町、飯豊町ほか

- ・ 林道・治山施設の災害査定後の災害復旧工事等

林道 天狗山線（飯豊町）ほか



小白川 護岸流出（飯豊町）



川西小国線 路肩損壊（小国町）



農道、水路の崩落（川西町）

高校教育改革を先導する拠点校の創出

6,856,934 千円

趣 旨

- 文部科学省が2040年に向けたグランドデザインを策定し、ネクストハイスクール構想として各都道府県における高校教育改革の先導拠点を整備し支援することとした。産業系高等学校における地域との連携等による共同研究、普通科高校の理数系教育や小規模校等の多様な学びの環境確保など、改革の先導拠点での取組みを通じて、本県産業や地域社会の人材育成を図るもの。

SHINJO-Kラボ（仮称）完成イメージ



地元産業界・大学との連携のもと高度なD×人材を育成するためのハブとする

事業内容（主なもの）

- （１）各先導拠点校の整備
- ① 米沢鶴城高等学校 213,239千円
 - ・ 階段教室やラボの整備及びものづくりを牽引するリーダー育成のための教育環境の構築
 - ② 新庄神室産業高等学校 160,165千円
 - ・ SHINJO-Kラボ（仮称）の整備及びデータ活用により農業を牽引する人材育成のための教育環境の構築
 - ③ 山形東高等学校 55,694千円
 - ・ 探究ラボの整備及び文理双方の資質・能力を備えた高度探究人材育成のための教育環境の構築
 - ④ 庄内総合高等学校 226,251千円
 - ・ 遠隔授業配信センターの整備及び不登校等の生徒に対応した多様な学びを支援する教育環境の構築
- （２）改革を支える基盤の整備 6,200,000千円
- 公立高校の教育改革を先導する取組みに要する経費に充てるため基金を積立て

